

開講科目名 / Course	道德教育論 / Moral education theory
時間割コード / Course Code	VED1009
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester
曜限 / Day, Period	木 / Thu. 6
開講区分 / semester offered	3学期 / 3Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	三浦 巧也 / MIURA Takuya
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	三浦 巧也 / MIURA Takuya (工学府 / Graduate School of Engineering)
概要 / Outline	オンライン（オンデマンド）による授業を予定している。 グループワークを実施するため、グループのメンバー同士で日程を調整する必要がある。 【目的と概要】 学校における道德教育について多角的に検討し、これからの道德教育の展望について考察を深めることを目的とする。また、指導案の作成・実践を通し、道德教育に関するよりよい授業実践の達成に向けた技術の獲得を目的とする。 アクティブラーニングによる双方向型の授業形態となる。
到達基準 / Standard	道德教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を育成する教育活動である。 道德の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育及びその要となる道德科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。
授業内容 / Schedule	第1回：日本における道德教育の変遷と動向 第2回：心の発達と道德教育 第3回：「特別の教科 道德」の目標・内容・評価 第4回：今日における道德教育の本質と課題 第5回：道德教育における家庭・地域社会の連携 第6回：第1回～6回に関するまとめ及び、模擬授業に向けたオリエンテーション 第7回：指導案作成に向けたディスカッション（モラル・スキル・トレーニングの検討） 第8回：指導案作成に向けたディスカッション（対話・傾聴技術の検討） 第9回：指導案作成に向けたディスカッション（教材の要件確認及び開発） 第10回：指導案作成に向けたディスカッション（授業観察法の検討） 第11回：第7回～10回を基にした指導案の作成（授業のねらいと内容及び学習評価の検討） 第12回：第7回～10回を基にした指導案の作成（教材開発及び授業観の検討） 第13回：第11回・12回を踏まえたワールドカフェ方式による模擬授業の実践（教員講評） 第14回：第11回・12回を踏まえたワールドカフェ方式による模擬授業の実践（改善授業） 第15回：模擬授業の振り返り（自己・他者評価の実施）及び、定期試験
履修条件・関連項目 / Requirements	教職科目（教育の基礎的理解に関する科目等）となります。 配布したプリント等を参考にして、本学の標準時間数に順ずる予習と復習を行うこと。
テキスト・教科書 / Text book	特になし。適宜プリントを配布する。
参考書 / Reference book	中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領
成績評価の方法 / Grading	オンライン教育における成績評価方法は、すべての出席を前提としています。評価の割合は以下の通りです。毎回の小レポートを含む平常点60%、課題10%および最終課題レポート30%で評価します。

教員から一言 / Something	本授業は、適宜シリウスを確認して下さい。
キーワード / Keyword	
オフィスアワー / Office Hours	学生一人一人と大事に話をしたいと考えています。そのため、一度メールにてご連絡いただき、相談する日程を設定したいと思います。Zoomもしくは対面にて実施を予定しています。相談を希望する学生は、tamiura@go.tuat.ac.jp宛にメールをください。
備考 1 / Note 1	
備考 2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	

開講科目名 / Course	道德教育論 / Moral education theory
時間割コード / Course Code	V0208
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester
曜限 / Day, Period	火 / Tue. 6
開講区分 / semester offered	3学期 / 3Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	三浦 巧也 / MIURA Takuya
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	三浦 巧也 / MIURA Takuya (工学府 / Graduate School of Engineering)
概要 / Outline	オンライン（オンデマンド）による授業を予定している。 グループワークを実施するため、グループのメンバー同士で日程を調整する必要がある。 【目的と概要】 学校における道德教育について多角的に検討し、これからの道德教育の展望について考察を深めることを目的とする。また、指導案の作成・実践を通し、道德教育に関するよりよい授業実践の達成に向けた技術の獲得を目的とする。 アクティブラーニングによる双方向型の授業形態となる。
到達基準 / Standard	道德教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を育成する教育活動である。 道德の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育及びその要となる道德科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。
授業内容 / Schedule	第1回：日本における道德教育の変遷と動向 第2回：心の発達と道德教育 第3回：「特別の教科 道德」の目標・内容・評価 第4回：今日における道德教育の本質と課題 第5回：道德教育における家庭・地域社会の連携 第6回：第1回～6回に関するまとめ及び、模擬授業に向けたオリエンテーション 第7回：指導案作成に向けたディスカッション（モラル・スキル・トレーニングの検討） 第8回：指導案作成に向けたディスカッション（対話・傾聴技術の検討） 第9回：指導案作成に向けたディスカッション（教材の要件確認及び開発） 第10回：指導案作成に向けたディスカッション（授業観察法の検討） 第11回：第7回～10回を基にした指導案の作成（授業のねらいと内容及び学習評価の検討） 第12回：第7回～10回を基にした指導案の作成（教材開発及び授業観の検討） 第13回：第11回・12回を踏まえたワールドカフェ方式による模擬授業の実践（教員講評） 第14回：第11回・12回を踏まえたワールドカフェ方式による模擬授業の実践（改善授業） 第15回：模擬授業の振り返り（自己・他者評価の実施）及び、定期試験
履修条件・関連項目 / Requirements	教職科目（教育の基礎的理解に関する科目等）となります。 配布したプリント等を参考にして、本学の標準時間数に順ずる予習と復習を行うこと。
テキスト・教科書 / Text book	特になし。適宜プリントを配布する。
参考書 / Reference book	中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領
成績評価の方法 / Grading	オンライン教育における成績評価方法は、すべての出席を前提としています。評価の割合は以下の通りです。毎回の小レポートを含む平常点60%、課題10%および最終課題レポート30%で評価します。

教員から一言 / Something	本授業は、適宜シリウスを確認して下さい。
キーワード / Keyword	
オフィスアワー / Office Hours	学生一人一人と大事に話をしたいと考えています。そのため、一度メールにてご連絡いただき、相談する日程を設定したいと思います。Zoomもしくは対面にて実施を予定しています。相談を希望する学生は、tamiura@go.tuat.ac.jp宛にメールをください。
備考 1 / Note 1	
備考 2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	